

(様式第4号)

くまもとCひと・まち・いきもんネットワーク活動報告書

令和4年4月14日

熊本市長 様

くまもとCひと・まち・いきもんネットワーク制度要綱第5条の規定により、くまもとCひと・まち・いきもんネットワーク活動報告書を提出します。

ふりがな		しぜんかんさつしどういんくまもとけんれんらくかい	登録番号	第7号
団体名		自然観察指導員熊本県連絡会		
代表者	職名	会長	所属	<input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 ()
	ふりがな	つる しょうこ		
	氏名	つる 詳子		
内容 (活動名、日時、場所、参加人数、活動内容等)		新型コロナウイルス感染拡大により、やむを得ず中止としたイベントもいくつかありましたが、別紙に記載したとおりの活動を行いました。 なお、一般への広報は行わずに原則として会員限定で活動しました。		

- ・記入欄が足りない場合、この用紙をコピーして記入してください。
- ・活動報告書の記載事項を満たす内容であれば、別様式でも活動報告書とみなすことができます。

江津湖のホタル観察会

日時：5月15日(土) 18:30~20:00

場所：上江津湖(熊本市中央区)

参加人数：4人

活動内容：断続的な雨の中でしたが、日没をはさんでホタルの生息環境を確認するとともにホタルの飛翔や発光の様子を観察しました。

スナメリ観察会

日時：7月11日(日) 17:00~18:00

場所：三角西港(宇城市)

参加人数：19人

活動内容：三角西港の岸壁近くで活動する小型のクジラの仲間であるスナメリを直接観察しながら、その生態や三角西港で見られる理由などを学びました。あいにくの雨模様でしたが、偶然立ち寄られた方約10名も観察会に参加されました。

自然観察指導員講習会

日時：11月20日(土)~21日(日) 1泊2日

場所：熊本県立豊野少年自然の家(宇城市)

参加人数：61人

活動内容：日本自然保護協会及びネイチャー佐賀との共催で、自然の観察と保護をテーマに、森の中での観察実習と室内での講義を行いました。46名の新しい自然観察指導員が誕生しました。

「え？冬にカエルの卵？」冬の動物を見る観察会

日時：1月23日(日) 9:00~12:00

場所：みさと土といのちの協同農園うしろ谷(美里町)

参加人数：12人

活動内容：農園代表の内田敬介氏による講話「有機農業といのちと農民」を聞き、アカガエルの卵塊やオタマジャクシ、アカハライモリなど湿地の生態を観察することで、いのちと自然のつながりの大切さを学びました。

リスクマネジメント研修会

日時：1月30日（日）10：00～12：00

場所：小規模多機能ホームほたる（甲佐町）

参加人数：10人

活動内容：野外活動におけるリスクとその対処法について室内学習しました。

陣ノ内城跡周辺自然観察会

日時：1月30日（日）13：00～15：00

場所：陣ノ内城跡周辺（甲佐町）

参加人数：10人

活動内容：植物を中心とした自然観察と植生調査を行うとともに、陣ノ内城の由来などを学びました。

球磨川・川辺川水生生物調査観察会

日時：3月21日（日）10：00～15：00

場所：川辺川及び球磨川（人吉市、相良村）

参加人数：20人

活動内容：毎年恒例の調査観察会で、主に水生生物を指標とした球磨川・川辺川の水環境調査及び観察会を行いました。

その他の主な活動

- 会員による定例の調査活動である五木村九折瀬洞窟調査（7月4日、12月25日）を実施しました。
- 再春館一本の木財団主催のキッズクラブ立田山生き物観察会（4月18日、7月25日、11月7日）に協力し観察指導を行いました。
- 6月6日～6月26日、環境月間に合わせて南阿蘇ビジターセンター（高森町）に設置された自然保護関係団体活動紹介コーナーにて、本会の活動状況等のパネル展示を行いました。
- 熊本県自然保護関係団体協議会のメンバーとして、球磨川・川辺川の現状を知るための現地研修会（11月27日）及び第26回くまもと自然保護講演会（1月10日）に参加しました。
- 熊本市北区兎谷地区のイノシシ被害調査及び被害防止対策に協力しました。
- 自然観察指導員熊本県連絡会（自然観察くまもと）会報（180号、181号、182号）を発行しました。